

2026年度 年間指導計画

教科（ 福祉 ）科目（ 介護福祉基礎 ）

（ 3 ） 学年 学科・コース名（ 普通科福祉教養コース/福祉コース ） 単位数（ 4 ）

使用教科書		実教出版「介護福祉基礎」							
使用副教材		日本医療企画「介護職員初任者研修テキスト」							
目 標		福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う等を通して、人間の尊厳を支え自立支援を行うために必要な基礎的な資質・能力を身につける。							
学習評価		【知識・技術】介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身につけている。 【思考・判断・表現】介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい介護をめざして自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。							
学 習 内 容									
	月	行事	単元・教材		学習の目標（B基準）	観点別評価		評価方法 課題等	
						知技	思判表 主体		
前期	4	始業式	2年次の続き（社会保険他関連制度）		・社会福祉分野の調べ学習の成果発表ができる。	■	■	■	発表 スライド
	5	前期中間考査	介護職員初任者研修 介護職の役割、介護職の安全 介護職員の職業倫理 多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解		・介護が目指すものについて理解できる。 ・介護職の役割について理解できる。 ・介護職員の職業倫理について理解できる。 ・多様なサービスや働く現場について理解できる。 ・コミュニケーションの基本を理解できる。 ・介護保険制度の概要が理解できる。	□	■	□	定期考査 小テスト 授業参加の様子
	6		介護におけるコミュニケーション 介護実習の準備		・介護実習への心構えができる。	■	□	□	
	7		前期期末考査 介護実習 介護保険制度		・目標を立てることができる。	■	□	□	
		9	秋休み	介護実習のまとめ 記録について（振り返り含む） 障害者総合支援制度について 医療との連携とリハビリテーション		・実習の振り返り、まとめが期限内に丁寧にできる。 ・障害者総合支援法の概要がわかる。 ・医療専門職の役割と連携の必要性を理解できる。 ・リハビリテーションの意味と種類、基本的な方法を理解することができる。	■	■	■
10					■	□	□	記録 事例検討レポート（課題）	
11					■	■	□		
後期	12	文化祭 後期中間考査	介護事例研究		・ICFの考え方を理解できる。 ・事例について互いに意見をだし検討できる。	■	■	□	
	1	後期期末考査	福祉教養コースで学んでの感想・発表 介護実践の振り返り		・3年間のまとめができる。	■	■	■	作文 発表の様子
学習方法		授業：①授業に自ら考えながら参加し記録をとる。②実習に向かうための準備や実施後のまとめを期限を守って行う。③周囲の取り組みにも協力する。実習：①準備をスムーズに行える。②目的を理解し日々の目標を立てることができる。③学習を生かし積極的に行う。④記録を丁寧にを行い期限を守って提出する。							
評価方法		評価方法	主体的取組	思考判断表現	知識技術	授業は事前にテーマを確認し、授業中の自ら考えた質問や発言及び他の人の発言を受けた前向きな対応を評価します。また積極的な実習や演習への参加も大切です。記録の取り方も大事です。丁寧にできる限り漢字を使って記録します。ワークシートはできるかぎり空欄のないように心がけます。提出物・課題は提出日と内容（記入及び整理の仕方）で評価します。定期考査は点数のみでなく、その記入の仕方や考査前後の取り組み方も評価します。			
		授業参加	◎	○					
		定期考査、小テスト	○	◎	◎				
		記録簿、アンケート	○	○	◎				
		ノート、ファイル	○	○					
		課題、作文等	○	○	◎				

2026年度 年間指導計画

教科（家庭）科目（介護総合演習）

（ 3 ） 学年 学科・コース名（普通科福祉教養コース/福祉コース） 単位数（2）

使用教科書		なし																								
使用副教材		なし ※内容によって、これまで使用した教科書及び副教材を使用する。																								
目 標		福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を身につける。																								
学習評価		【知識・技術】これまでの授業や校内外の実習、様々な体験を通して得た知識や技術を使い、自らの課題解決に向け、理論的、建設的に（エビデンスを意識して）丁寧に取り組めている。 【思考・判断・表現】課題を発見する視点とともに、その解決に向けた手段や方法、実施、考察等の展開について、自ら進めていく力を身につけている。また、それを周囲に向けてわかりやすく発信している。 【主体的に学習に取り組む態度】課題解決にむけ自ら学習を深めながら、必要な方法を探ったり、発展的な解決方法を目指して周囲との関係性を深めるなど、日常でも使えるような学び方（実践）を主体的に行っている。																								
学 習 内 容																										
	月	行事	単元・教材	学習の目標 (B基準)	観点別評価 知技 思判表 主体	評価方法 課題等																				
前期	4	前期中間考査	課題の設定 計画の作成	・ 身近なところから課題が設定でき、また設定理由が明確に表現できる。	☐ ■ ■	実施の様子 （報告・連絡・相談・記録の実施及び内容） 記録や他資料の整理 ※年間継続																				
	5		調べ学習 及び実習等での実施（展開）	・ 解決のための大まかな実施計画を立てることができる。	☐ ■ ☐																					
	6			・ 計画に合わせて活動し、また必要時に担当者と報告や相談をしながらすすめることができる。	■ ■ ■																					
	7	前期期末考査		・ 1回毎の記録も丁寧にできる。 ・ 中間報告にむけて、効果的な準備ができる。 ・ 校外での活動も、手順を踏んで実施できる。	☐ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■																					
	9 10	秋休み	中間報告① 再計画などの検討調べ学習 及び実習等での実施（展開）	・ 発表後の周囲による評価を活かし、最後まで繰り返し内容検討と実施ができる。	☐ ■ ■	まとめ方の工夫 発表の様子																				
後期	11	後期中間考査 文化祭	総合演習発表会	・ 丁寧に発表準備ができる。 ・ 工夫されたスライドが作成できる。	■ ■ ■ ☐ ■ ☐	スライド作成の様子、内容 発表の様子																				
	12			・ 皆に伝わりやすく発表ができる。	☐ ■ ☐																					
	1	後期期末考査	研究のまとめ	・ 研究の仕方について、各自が理解できる。	■ ■ ☐	振り返りシート																				
学習方法		①課題解決に向けて事前に流れを計画し、考えながらすすめていく。②担当者との連絡・相談・報告をこまめに行う。③記録を大事にする。④予定変更についても相談する。（理由を大事にする）⑤まとめ方（伝え方）を工夫する。⑥報告発表の機会を節目としながら、密にすすめていく。⑦周囲からの評価も大事にする。⑧資料等の管理も意識して行う。著作に気を配り記録する。																								
評価方法		<table><tr><td>評価方法</td><td>主体的取組</td><td>思考判断表現</td><td>知識技術</td></tr><tr><td>授業・実習態度</td><td>◎</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>記録内容</td><td></td><td>◎</td><td>○</td></tr><tr><td>ファイル等記録物管理</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>報告・発表</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td></tr></table> 各時間に取り組みたいことを意識して行います。どんなことをどこまですすめるか、ということ（計画）を確認し毎時の取り組みを見ます。計画を意識した、その時間までの準備も重要ですから、担当者との会話も大事にします。記録については、内容だけでなく管理の仕方も大事です。他の方から助言をいただいたり、実際に他の場所に行って実施したり、作成する等の取り組みでは、その段取りのつけかたやまとめ方も評価します。自ら考え、予定を変更する・新たに計画する等の取り組みも、その発想やより解決に向けた興味ある取り組みが見える事が重要で、変更するからマイナス評価と言うことではありません。また、積極的な毎時の取り組みとともに、他の人たちの取り組みにも興味を示し、各自の研究を大事にするような姿勢も大事です。記録はタブレット活用も可能ですが、著作権などの管理も雑にならないように気をつけます。記録は漢字を用いてください。報告の期限などは守ります。定期考査は行いません。かわりに中間報告発表の内容や日々の取り組みが評価の主な対象となります。					評価方法	主体的取組	思考判断表現	知識技術	授業・実習態度	◎	○	○	記録内容		◎	○	ファイル等記録物管理	○		○	報告・発表	○	◎	◎
評価方法	主体的取組	思考判断表現	知識技術																							
授業・実習態度	◎	○	○																							
記録内容		◎	○																							
ファイル等記録物管理	○		○																							
報告・発表	○	◎	◎																							

2026年度 年間指導計画

教科（福祉）科目（生活支援技術）

（ 3 ） 学年 学科・コース名（普通科福祉教養コース/福祉コース） 単位数（4）

使用教科書		実教出版「生活支援技術」																												
使用副教材		日本医療企画「介護職員初任者研修テキスト」																												
目 標		福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う等を通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な基礎的な資質・能力を身につける。																												
学習評価		【知識・技術】介護の基本的な知識や技術を身につけている。介護の必要な者についての基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】利用者の人権を尊重し、利用者に応じたより良い介護の展開ができる力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい介護技術の提供をめざし、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。																												
学 習 内 容																														
前 期	4	始業式	介護に関するところとからだのしくみの基礎的理解 老化の理解 認知症の理解 高齢者に多い疾病の理解 <u>介護実習</u>	・利用者のところとからだのしくみや認知症、生活習慣病等の基礎的な理解ができる。	■ ■ □		定期考査 授業・演習参加状況 レポート																							
	5	前期中間考査																												
	6																													
	7																													
		前期期末考査																												
	9	秋休み	障害（障がい）の理解	・「障害」「障がい」について考えることができる。	■ ■ □		定期考査 授業・演習参加状況 レポート																							
	10			・障がい者の心理、行動特性、家族の心理等を理解し、支援につなげることができる。	■ ■ □																									
後 期	11	文化祭 後期中間考査	ところとからだのしくみと生活支援技術 ～居住環境整備、移動・移乗、生活と家事、清潔保持、整容、排せつ、睡眠～ 終末期介護 介護過程の基礎的理解 総合生活支援技術演習	・生活支援技術の基本的な考えが理解できる。	■ ■ □																									
	12			・実習中で学んだ支援技術の共有ができる。	□ ■ □																									
				・終末期介護の基本が理解できる。	■ ■ □																									
					・介護過程が何か説明ができる。事例で展開ができる。	■ ■ ■																								
				・生活支援技術でもつべき視点とそれを支える技術をつなげて理解できる。	■ ■ ■																									
	1	後期期末考査	振り返り（修了試験含む）	・修了試験で前向きな取り組みができる。	■ ■ ■		修了試験結果 定期考査																							
学習方法		授業：①授業での話を記録し、板書事項をノートに書く。②プリントのまとめをする。③質問や課題発表をする。 実習：①目的及び方法を知る。②実習先で目標に向け、実習指導者のもと積極的に行う。③実習記録を作成する。																												
評価方法		<table><tr><td>評価方法</td><td>主体的取組</td><td>思考判断表現</td><td>知識技術</td></tr><tr><td>授業態度</td><td>◎</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>定期テスト</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td></tr><tr><td>確認テスト</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td></tr><tr><td>ノート・ファイル等提出物</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td></tr><tr><td>課題提出物</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr></table>	評価方法	主体的取組	思考判断表現	知識技術	授業態度	◎	○		定期テスト	○	◎	◎	確認テスト	○	○	◎	ノート・ファイル等提出物	○	○	◎	課題提出物	○		○	授業は事前にテーマを確認し、授業中の自ら考えた質問や発言及び他の人の発言を受けた前向きな対応を評価します。また積極的な演習等への参加も大切です。記録の取り方も大切です。丁寧にできる限り漢字を使って記録します。ワークシートはできるかぎり空欄のないように心がけます。提出物・課題は提出日と内容（記入及び整理の仕方）で評価します。定期考査は点数のみでなく、その記入の仕方や考査前後の取り組み方も評価します。			
評価方法	主体的取組	思考判断表現	知識技術																											
授業態度	◎	○																												
定期テスト	○	◎	◎																											
確認テスト	○	○	◎																											
ノート・ファイル等提出物	○	○	◎																											
課題提出物	○		○																											